

「盛岡いのちの電話」

チャリティーコンサート

～オルガンと合唱が奏でるクリスマスの調べ～

1999年12月22日 午後7時
盛岡市民文化ホール小ホール

主催 盛岡いのちの電話後援会

主催者ごあいさつ

本日は、盛岡いのちの電話・後援会主催による「オルガンと合唱が奏でるクリスマス調べ」盛岡いのちの電話チャリティーコンサートにご来場たまわり厚く御礼申し上げます。

本日演奏いたします盛岡バッハ・カンタータ・フェラインは今秋11月に、招かれてドイツ演奏旅行を行ない、好評を博して帰国されたと伺っております。

この合唱団は、帰国後間もないご多忙のところ、昨年に引き続き当会主催のチャリティーコンサートへの出演を快諾して下さい、また、前回の演奏を聴いて下さった方々からの「次は、市民文化ホールのオルガンと合唱の共演を聴いてみたい」との要望をくんでいただきました。そして、このコンサートが実現したのであります。

年の瀬のひとつき、アルトソロ、2台のオルガン、合唱が奏でる、ドイツのクリスマス調べを、どうぞお楽しみください。

おわりに、ご来場の皆様と、いのちの電話事業をご支援の関係各位と共に、盛岡バッハ・カンタータ・フェラインのますますのご精進とご活躍をご期待申し上げます。

1999年12月22日

社会福祉法人盛岡いのちの電話
後援会 会長 佐藤 光

メンデルスゾーン作曲

FELIX MENDELSSOHN BARTHOLDY

「クリスマス讃歌」
Weihnachtshymne

ソプラノ 小野寺貴子 石岡 裕子

「アベマリア」 Op.23-2
Ave Maria

ソプラノ 小野寺貴子 福田 温子
アルト 加藤緒理絵 小川 暁美
テノール 小山内 薫 佐々木幹雄
バス 横山 泉 芳賀 郁夫

「深き淵より我汝を呼ぶ」 Op.23-1
Aus tiefer Not schrei ich zu dir

テノール 独 唱 吉 村 哲

「三つの宗教的な歌」
Drei geistliche Lieder

アルト 独 唱 佐々木まり子

(休 憩)

J.S.バッハ作曲

JOHANN SEBASTIAN BACH

「オルゲルビューヒライン」
Das Orgelbüchlein

お出で下さい、異邦人の救い主よ
主キリスト、神の独り子
ベツレヘムに生まれた御子
讃えられよ、あなた、イエス・キリスト
高き天より私は来た
甘き喜びのうちに
私たちキリストの者

Nun komm, der Heiden Heiland
Herr Christ, der einig Gottes Sohn
Puer natus in Bethlehem
Gelobet seist du, Jesus Christ
Vom Himmel hoch da komm ich her
In dulci jubilo
Wir Christenleut

指 揮

佐々木 正 利

パイプオルガン

水 野 均

ポジティーフオルガン

劔 持 清 之

合 唱

盛岡バッハ・カンタータ・フェライン

プロフィール

佐々木 まり子 (アルト・ソロ)

東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修士課程独唱専攻修了。毎日学生コンクール西日本1位。NHK新人演奏会出演。伊藤亘行、小林道夫、森明彦の各氏に師事。1980年にデットモルト北西ドイツ音楽大学に留学し、H.クレッチマール、H.クールマン両教授に師事。ドイツ・リート、オラトリオ歌唱法ならびにドイツ語舞台発音法の研鑽を積む。帰国後も、H.ヴィンシャーマンとバッハ「クリスマス・オラトリオ」で共演したのを初め、バッハ、ヘンデルのカンタータ、オラトリオ演奏会に多数出演。温かく豊かで深みのある歌唱によって、東京を中心に全国各地で活躍している。1993年9月にはA.ギーベル女史とのメンデルスゾーン「パウロ」に出演、10月にはH.ヴィンシャーマン指揮によるドイツ・バッハゾリステンの「マタイ受難曲」のアルト・ソリストとして高い評価を得た。近年は全日本合唱連盟主催のおかあさんカンタートにて発声講座の講師を務める。また月が丘教会のチャペルコンサートを長年企画、指揮している。現在、女声合唱団・グレイセスもりおか、アンサンブル・コン・フォーコ指揮者。東北大学混声合唱団、岩手大学合唱団、盛岡子供劇団CATSきゃあ各ヴォイス・トレーナー・グループ・ベッヒライン会員。

水野 均 (パイプオルガン)

国立音楽大学器楽科オルガン専攻を主席で卒業、「矢田部賞」受賞、同大学院音楽研究科器楽専攻修了。その後、ミラノ市立音楽院(イタリア)古楽器科にて研鑽を積む。オルガンを廣野嗣雄、吉田実、L.ギエルミに、チェンバロ及び通奏低音を有田千代子、L.アルビーニの各氏に師事。その他、M.ラドゥレスク、H.フォーゲル、M.ハーゼルベック、E.ウルマンの各氏によるアカデミーに参加。サントリーホール、東京芸術劇場、神奈川県民ホール、所沢市民文化センター「ミューズ」(アークホール)等を初めとする国内のコンサートホールでの様々なコンサートに出演。日本、ドイツ、オーストリア、イタリアでソロコンサートを行う他、国内外の合唱、室内楽、オーケストラとの共演等数多く行っている。盛岡では1998年6月から盛岡市民文化ホールのオルガニストを務め、オルガン事業の企画に奔走する傍ら、本年2月には盛岡での本格的なデビューリサイタルを開催、高い評価を得る。桐朋学園大学音楽部古楽器科講師。盛岡市民文化ホールオルガニスト。カザルスホール・オルガニスト・イン・レジデンス。日本基督教団早稲田教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。日本オルガン研究会会員。

剣持 清之 (ポジティブオルガン)

国立音楽大学卒業。伴奏ピアニストとして演奏活動を始め、国立音楽大学教授佐藤峰子氏主催重唱研究会専属伴奏者、同氏の演奏会での伴奏を務め研鑽を積む。パンセ・ア・ラ・ミュージック社の声楽教材「コンコーネ 50 番」伴奏テープ録音。チェンバロを西川清子氏に師事し、チェンバロ奏者、通奏低音奏者として活動の場を広げ、1985年ビデオ・ディスク「チェンバロのすべて」録音。1986年より盛岡在住。1992年より盛岡バッハ・カンタータ・フェラインのオルガニストを務め、ドイツ演奏旅行での通奏低音、佐々木正利氏、岩城宏之氏、H.J.ロッツェ氏指揮の盛岡バッハ・カンタータ・フェライン20周年記念演奏会において通奏低音を務める。他にも各種演奏会において、チェンバロ、通奏低音、伴奏ピアニストとして活動の場を広げている。盛岡バッハ・カンタータ・フェライン・オルガニスト。グループ・ベッヒライン会員。盛岡大学短期大学部助教授。岩手大学教育学部音楽科非常勤講師。

佐々木 正利 (指揮)

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修士及び博士後期課程修了。須賀靖元(声楽)、小林道夫(演奏法)、服部幸三(音楽学)、森明彦(発声法)、松本民之助(作曲)、岳藤豪希(宗教音楽)の各氏に師事。1973年にバッハ・クリスマスオラトリオの福音史家で楽壇デビューして以来、バッハをはじめとする宗教音楽のスペシャリストとして揺るぎない地位を得ている。1979年シュトゥットガルトに渡り、L.フィッシャー教授に師事。1980年第6回ライプツィヒ国際バッハ・コンクール声楽部門第5位入賞。同年より1982年までデットモルト北西ドイツ音楽大学に学び、H.クレッチマール教授に師事。在独中は欧州各国の演奏会に招かれ、特に1980年ウィーン楽友協会ホールでのマタイ受難曲では『若き日のP・シュライヤー』と新聞各紙で絶賛される。帰国後も世界、日本の著名オーケストラのソリストとして起用される。また世界的バッハ指揮者であるH.ヴィンシャーマン率いるドイツ・バッハゾリステンの演奏会を初め、幾多の演奏会に出演して信頼を勝ち得ている。1985年ザルツブルク音楽祭に招かれ、バッハ・マニフィカト等で絶賛を博した。現在までリサイタル18回を数え、レコード・CDも十数本、またテレビ、FM等にも度々出演している。

1970年東京芸大バッハ・カンタータ・クラブの創設に携わり、多くの後進を育てるとともに指揮者としての活動を開始。以後、約30年にわたって主に宗教曲の演奏に力を寄せ、そのいずれもが名演の誉れ高い。特に盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、仙台宗教音楽合唱団を率いての4度にわたるドイツ公演では『シュツ、バッハの世界的担い手』とした最大級の賛辞が新聞各紙に掲載される。1994年、長年にわたる顕著な演奏・教育の業績に対し、第47回岩手日報文化賞(学芸部門)が贈られた。岩手大学教育学部音楽科教授。二期会会員。グループ・ベッヒライン会員。日本声楽発声学会理事。日本発声指導者協会常任理事。仙台バッハ・アカデミー理事。盛岡バッハ・カンタータ・フェライン、仙台宗教音楽合唱団、岡山バッハ・カンタータ協会、岩手大学合唱団、東北大学混声合唱団各常任指揮者。水戸バッハ・コレギウム音楽顧問。

Weihnachtshymne

1.
Gott sei Dank durch alle Welt,
der sein Wort beständig hält
und der Sünder Trost und Rat
zu uns hergesendet hat.

2.
Was der alten Väter Schar
höchster Wunsch und Sehnen war
und was sie geprophezeit,
ist erfüllt in Herrlichkeit.
Gott sei Dank durch alle Welt,
der sein Wort beständig hält.

3.
Zions Hilf und Abrams Lohn,
Jakobs Heil, der Jungfrau Sohn!
Wunderbar Rat, Kraft und Held
hat sich treulich eingestellt.

4.
Sei willkommen, o mein Heil!
Dir Hosianna,
o mein Teil!
Richte du auch eine Bahn
dir in meinem Herzen an.
Gott sei Dank durch alle Welt,
der sein Wort beständig hält.

Ave Maria Op23-2

Ave Maria, gratia plena:
Dominus tecum,
benedicta tu in mulieribus,
Sancta Maria,
ora pro nobis peccatoribus,
nunc et in hora mortis nostri.

Aus tiefer Not schrei ich zu dir Op23-1 深き淵より我汝を呼ぶ

Aus tiefer Not schrei ich zu dir,
Herr Gott, erhöhr mein Rufen;
dein gnädig Ohren kehr zu mir
und meiner Bitte sie öffene!
Denn so du willst das sehen an,
was Sünd und Unrecht ist getan,
wer kann, Herr, vor dir bleiben?

Bei dir gilt nichts denn Gnad und Gunst,
die Sünde zu vergeben;
es ist doch unser Tun umsonst
auch in dem besten Leben.
Vor dir niemand sich rühren kann;
des muß dich fürchten jedermann
und deiner Gnade leben.

クリスマス讃歌

世界中の人々よ、神に感謝を捧げよう。
神の御言葉いつの世も変わらず、
罪人の慰めや助言として
私たちのもとへ天より送られたものであるから。

古き聖人たちが
至高の望み、憧れとして
預言されたことが
こうして成就された。なんとすばらしいこと。
全世界の人々よ、神に感謝を捧げよう。
神の御言葉いつの世も変わらず。

シオンの助け、アブラハムの成果、
ヤコブの救済、若き乙女の息子！
すばらしき助言者、御力と英雄なる御方が
親しげにお現れになられたのだ。

ようこそ、おお私の救い主よ、
あなたにオザンナと喜びの声をあげよう。
おお、私のすべてよ。
あなたは、私の心の中に
直き道をも備えて下さったのだ。
世界中の人々よ、神に感謝を捧げよう。
神の御言葉いつの世も変わらず。

アベマリア

おめでとう、マリア。恵みに満ちた方。
主が、あなたとともにおられます。
あなたは、女の中の祝福された方。
聖なるマリア。
罪人である私たちのために、お祈り下さい。
今も、そして私たちの臨終のときにも。

主よ、深い淵から
私はあなたを呼び求めます。
主よ、私の声を聞いて下さい。
私の願いの声に耳を傾けて下さい。
主よ、あなたがもし、
不義に目を留められるなら、
主よ、誰が御前に立ち得ましょう。

あなたの恵みと恩寵がなければ
一体、何が罪を赦せるというのでしょうか。
我々の無益な行いもまた、
あなたの御前では、最良の人生となるのです。
あなたを畏れかしこみ、あなたの恵みに生きる
そうした人々以外には、あなたの御前で
誰も、活躍できるはずはありません。

Darum auf Gott will hoffen ich,
auf mein Verdienst nicht bauen;
auf ihn mein Herz soll lassen sich
und seiner Güte trauen,
die mir zusagt sein wertest Wort;
das ist mein Trost und treuer Hort,
des will ich allzeit harren.

Und ob es währt bis in die Nacht
und wieder an den Morgen,
doch soll mein Herz an Gottes Macht
verzweifeln nicht, noch sorgen.
So tu Israel rechter Art,
der aus dem Geist erzeugt ward
und seines Gottes erharre.

Ob bei uns ist der Sünden viel,
bei Gott ist viel mehr Gnade,
sein Hand zu helfen hat kein Ziel,
wie groß auch sei der Schade.
Er ist allein der gute Hirt,
der Israel erhören wird
aus seinen Sünden allein.

Drei geistliche Lieder

- 1 Lass, o Herr, mich Hülfe finden,
neig' dich gnädig meinem Fleh'n,
willst gedenken du der Sünden,
nimmermehr kann ich besteh'n,
Soll mein Sorgen ewig dauern,
sollen Feinde spotten mein?
Schwach und hilflos soll ich trauern
und von dir vergessen sein?
- 2 Deines Kinds Gebet erhöre,
Vater, schau auf mich herab;
meinen Augen Licht gewähre,
rette mich aus dunklem Grab.
Sonst verlachte der Feind mich Armen,
triumphiert in stolzer Pracht,
sonst verfolgt er ohn' Erbarmen
und verspottet deine Macht.
- 3 Herr, wir trau'n auf deine Güte,
die uns rettet wunderbar,
singen dir mit frommem Liede,
danken freudig immerdar

ですから、私は神を待ち望みます。
私自身を頼りとせず、
我が心を神に委ねます。
そして、神の寛容に、より頼みます。
私にとって価値ある神の御言葉は
私の慰めとなり、また誠の守りとなるのです。
私はそれを、いつもいつも待ち焦がれています。

そして、再び朝が巡ってくるまで、
夜が長く続こうとも、
我が心よ、神の力が及ばなくなることを
気遣うべきではありません。
だから、イスラエルの人々よ、
聖霊によって導かれる正しい行いをし、
ひたすら、神を待ち望みなさい。

たとえ、私たちが多くの罪に捕らわれようも、
神は、それにも増して多くの恵みを与えられます。
留まることを知らぬ、我らを助ける神の御手は、
神の大いなる犠牲のうえにもたらされるものです。
その神だけが、良き牧人です。
イスラエルは、その罪によって
祈りが聞き届けられるのです。

3つ宗教的な歌

おお、主よ、我が救いを見出させてください。
情け深い主よ、私の願いに耳を傾けてください。
あなたがその罪を思い起こすならば
私は存在することが決してできません。
私の不安は永遠に続くべきであり
私の敵をあざ笑うべきではないのか。
弱さと頼りなさを私はたのみとし、
あなたのことを忘れてしまうべきであろうか？

あなたの子の祈りを聞き入れてください。
父よ、私の上にまなざしをなげかけてください。
(そうすれば)私の目には明るさが与えられ、
私は暗い墓より救い出されます。
でなければ、敵は私をまずしき者とあざ笑い
誇らしげな華やかさで勝ち誇ります。
でなければ、彼は無情さを迫害し
そしてあなたの権力をあざけるでしょう。

主よ、私たちはあなたの慈しみを信じ
それは、私をみごとに救ってください。
敬虔な歌をあなたに歌い
永遠に喜ばしく感謝します。

Das Orgelbüchlein

Nun komm, der Heiden Heiland

1.

Nun komm, der Heiden Heiland,
der Jungfrauen Kind erkannt,
daß sich wundert alle Welt,
Gott solch Geburt ihm bestellt.

2.

Lob sei Gott dem Vater g'tan,
Lob sei Gott sein'm ein'gen Sohn,
Lob sei Gott dem heiligen Geist
immer und in Ewigkeit.

お出で下さい、異邦人の救い主よ、
処女マリアの御子として認知された御方よ、
そのことに全世界が驚いている、
神はそのような誕生を御子に与えられたのだ。

父なる神は讃えられよ、
その御子なる神は讃えられよ、
聖霊なる神は讃えられよ、
絶える時なく、永遠に。

Herr Christ, der einig Gotts Sohn

Herr Christ, der einig Gottes Sohn
Vaters in Ewigkeit,
aus seinem Herz' entsprossen,
gleich wie geschrieben steht,
er ist der Morgensterne,
sein'n Glanz streckt er so ferne
vor andre Sternen klar.

主キリスト、神の独り子、
永遠に父のものであるキリストは
父の御胸から生れ出でた、
まさしく記されてある通りに、
キリストは明けの明星、
その輝きをはるかに広げる
他の星々をしのいで、明るく。

Puer natus in Bethlehem

1.

Puer natus in Bethlehem, Bethlehem,
unde gaudet Jerusalem.
Halleluja.

2.

Reges de Saba veniunt
aurum, thus, myrrham offerunt.
Halleluja.

3.

Laudetur sancta Trinitas
deo dicamus gratias.
Halleluja.

ベツレヘムに生まれた御子、
エルサレムの喜びの源ベツレヘムに、
ハレルヤ。

シバの王たちがやって来た、
黄金と乳香と投薬を彼らは持参した。
ハレルヤ。

聖なる三位一体は讃えられよ、
私たちは神に感謝を捧げよう。
ハレルヤ。

Gelobet seist du, Jesu Christ

Gelobet seist du, Jesu Christ,
daß du Mensch geboren bist,
von einer Jungfrau das ist wahr,
des freuet sich der Engel Schar.
Kyrieleis!

讃えられよ、あなたイエス・キリストは、
人としてお生まれになったことは、
一人の処女から、とは真のこと、
天使たちの群はそれを喜ぶ。
キュリエース！

Vom Himmel hoch da komm ich her

1.

Vom Himmel hoch da komm ich her,
ich bring euch gute neue Mär,
der guten Mär bring ich so viel,
davon ich singn und sagen will.

2.

Euch ist ein Kindlein heut geborn,
von einer Jungfrau auserkorn,
ein Kindelein so zart und fein,
das soll eur Freud und Wonne sein.

3.

Des laßt uns alle fröhlich sein,
und mit den Hirten gehn hinein,
zu sehn, was Gott uns hat beschert,
mit seinem lieben Sohn verehrt.

高き天より、私は来た、
私はお前たちに新しい吉報をもたらした、
多くの良き報をもたらした、
それを私は歌い、語ろう。

お前たちに今日一人の子が生まれた、
選ばれた一人の処女によって、
やさしく美しい一人の子、
その子はお前たちの喜びとなり、歓喜となろう。

そのことを私たちは皆喜び、
羊飼いたちと共に歩み入って見ようではないか、
神が私たちに与えられたもの、
その愛する御子によって下されたものを。

In dulci jubilo

In dulci jubilo,
Nun singet und seid froh!
unsers Herzens Wonne
leit in praesepio,
und leuchtet als die Sonne
matris in gremio.
Alpha es et O.

甘き喜びのうちに、
さあ歌え、喜べ！
私たちの心の大いなる喜びは
秣槽（うまぶね）の中に眠り、
そして太陽と輝く
母の膝に。
それは始めにして終わり。

Wir Christenleut

1.

Wir Christenleut,
habn jetzt und Freud,
weil uns zum Trost ist Christus Mensch geboren,
hat uns erlöst,
wer sich des tröst,
und glaubet fest, soll nicht werden verloren.

2.

Die Sünd macht Leid,
Christus bringt Freud,
weil er zu uns in diese Welt ist kommen.
Mit uns ist Gott
nun in der Not.
Wer ist, der jetzt uns Christen kann verdammen?

私たちキリストの者には
今や喜びがある、
私たちを慰めようと、キリストが人として生まれ
私たちを救ったのだ。
このことを慰めとして
このことを堅く信ずるものは亡びることはないだろう。

罪は悩みをつくる、
しかしキリストは喜びをもたらす、
私たちのためにこの世に来られた故に。
今や神は
私たちと共に悩んでいられる。
今私たちキリストの者を罰し得る者は誰か？